

8 部門別職員数の状況

(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数		増減数
		平成23年度	平成22年度	
一般行政部門	議会	8	8	0
	総務	187	185	2
	税務	60	60	0
	民生	65	67	△2
	衛生	62	65	△3
	労働	3	4	△1
	農林水産	103	103	0
	商工	28	26	2
	土木	76	79	△3
	小計	592	597	△5
特別行政部門	教育	205	223	△18
	小計	205	223	△18
公営企業等会計部門	水道	43	43	0
	下水道	14	14	0
	その他	31	31	0
小計	88	88	0	
合計		885 (894)	908 (918)	△23

※職員数は、一般職に属する職員数です。

※()内は、条例定数の合計です。

9 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

勤務時間	午前8時30分～午後5時15分
休憩時間	午後0時～午後1時

10 職員の服務の状況

年次有給休暇平均取得日数 ※1年に付き20日間付与	12.4日
介護休暇	0人
育児休暇	12人

※各休暇の人数は、平成22年度に新たに取得した職員数です。

11 職員の分限及び懲戒処分の状況

①分限処分の状況

年度	免職	降任	降級	休職	合計
平成22年度	0人	0人	0人	7人	7人

②懲戒処分の状況

年度	免職	停職	減給	戒告	合計
平成22年度	0人	2人	2人	0人	4人

12 職員の研修の状況

階層別研修	一般職員基礎研修	
	一般職員研修	
	主査・主任研修	
	新任係長研修	
	新任課長補佐級研修	
	新任課長級研修	
市独自研修	行政実務研修	
	法制執務研修	
	文書取扱者研修	
	接遇研修	
	評価者(勤務評定者)研修	
	課長補佐(調整力)研修	
	企画力・創造力開発研修	
専門研修等	政策形成能力向上研修	
	行政評価研修	
	民法研修	
	論理的問題解決研修	
	人事考課・勤務評定者研修	
	自治大学校研修	
	市町村アカデミー研修	
	国際文化アカデミー研修	
	派遣研修	鹿児島県派遣研修
		他団体等派遣研修

13 職員の勤務成績の評定の状況

○職員の勤務状況を把握し、職員の能力開発及び人事管理に係る基礎資料として活用する。

※基準日=平成23年11月1日

対象者	報告者
課長職(相当職を含む)	部長
上記以外の職員	課長等

14 福利厚生状況

福利厚生 の団体名	鹿屋市職員厚生会
福利厚生団体 の会員数	828人 ※平成23年4月現在
福利厚生 の内容	○定期健康診断(年1回) ○人間ドック助成 ○定期健康相談(月1回)

②退職手当

(平成23年4月1日現在)

区分	鹿屋市		国	
	自己都合	勸奨・定年	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	32.76月分	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置		定年前早期退職特例措置	

※退職手当の一人当たり平均支給額は23,655千円で、前年度に退職した全職種に係る職員に支給した額の平均です。

③特殊勤務手当

(平成22年度実績)

支給実績	8,737千円
支給職員一人当たりの平均支給年額	65,201円
職員全体に占める手当支給職員の割合	9.1%
手当の種類(手当数)	16
手当の名称	収納事務従事手当、防疫作業従事手当、有毒薬品等取扱手当、社会福祉事業従事手当、行旅病人取扱手当、保健師等手当、死体処理作業手当、用地交渉手当、し尿処理施設等勤務手当、特殊自動車運転作業手当、鳴之尾牧場勤務手当、薬剤散布手当、地籍調査業務従事手当、へい死動物処理従事手当、簡易水道緊急業務手当、簡易水道停水処分手当

④時間外勤務手当

(平成22年度実績)

支給実績	126,269千円
支給職員一人当たり平均支給年額	348千円

⑤その他の手当

(平成22年度実績)

手当名	内容及び支給単価	国の制度と異なる内容	支給実績	支給職員一人当たり平均支給年額
扶養手当	○配偶者 = 13,000円 ○配偶者以外 = 一人につき6,500円 ※配偶者がいない場合 = そのうち一人は11,000円 ※満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子がいる場合 = 一人につき5,000円加算	—	147,122千円	251,921円
住居手当	○貸家・貸間居住者 = 最高限度額27,000円	—	82,704千円	126,266円
通勤手当	○交通機関利用者 = 運賃相当額(最高55,000円) ○交通用具利用者 = 片道2km以上4,000円から最高23,100円	交通用具利用者の距離区分	59,725千円	85,689円

7 特別職の報酬等の状況

(平成23年4月1日現在)

給料	区分	給料月額等	類似団体における最高/最低額
	市長	630,000円	1,008,000円/630,000円
報酬	副市長	595,000円	840,000円/595,000円
	議長	450,000円	623,000円/431,000円
	副議長	396,000円	538,000円/369,000円
	議員	370,000円	490,000円/339,000円
期末手当	市長・副市長	2.95月分(平成23年度支給月数)	
	議長・副議長・議員	2.95月分(平成23年度支給月数)	
退職手当	市長	退職時の給料月額×在職月数×0.4	任期満了時(任期毎)
	副市長	退職時の給料月額×在職月数×0.3	任期満了時(任期毎)